

法人名 (公財)やまなし文化学習協会

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	理事長 高野孫左工門	所管部(局)課	生涯学習文化課	
所在地	甲府市朝氣1-2-2	電話番号	055-235-4171	
ホームページURL	http://www.yamanashi-bunka.or.jp	E-mailアドレス	info-bun@yamanashi-bunka.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000 千円	設立年月日	平成11年4月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名等	出資額	出資比率
	1	山梨県	15,000 千円	50.0 %
	2		千円	0.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	5		千円	0.0 %
	6		千円	0.0 %
	7		千円	0.0 %
	8		千円	0.0 %
	9		千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)	千円	0.0 %
その他		15,000 千円	50.0 %	
	合計	30,000 千円	100.0 %	
設立の経緯	<p>文化の香り高い山梨の実現に向け、県民の自発的な芸術文化活動や生涯学習活動を支援し、地域文化の振興と生涯学習を基盤とした生涯設計と社会生活の創造を図るとともに、地域社会の活性化を担う人材の育成に寄与することを目的に、財団法人として設置され、山梨県立県民文化ホール、山梨県県民会館、山梨県生涯学習推進センターの業務を受託してきた。</p> <p>平成24年4月1日には、公益財団法人として認定を受けている。(法人の目的に「男女共同参画社会の形成促進」を追加。)</p> <p>現在、指定管理者として、山梨県立男女共同参画推進センター(平成21年度～)、甲斐市双葉ふれあい文化館(平成20年度～)の管理運営を行うとともに、県の委託業務として、山梨県生涯学習推進センター(平成11年度～)、山梨こぶき勤学院(平成25年度～)、山梨県森林総合研究所「森の教室」(平成26年度～)、山梨近代人物館(平成26年度～)の運営を行っている。</p>			

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H24年度	H25年度	H26年度
事業1 男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けて各種講座を開催し普及啓発を図るとともに、女性の一般的な問題悩みに対して電話及び面接による女性総合相談や配偶者からの暴力に関する相談を行う。	145,930	145,509	146,532
事業2 芸術文化振興事業	甲斐市双葉ふれあい文化館において芸術観賞事業や市民芸術文化活動の支援等を行う。	52,732	54,262	57,466
事業3 生涯学習推進事業	県民の生涯学習を総合的に支援する中核施設として、講座の開催や各種事業を実施するとともに学習活動や交流の場として交流室の貸出と支援を行う。	46,277	47,644	47,604

【組織】

年度	平成25年度					平成26年度					平成27年度							
	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他			
4月1日現在の人員																		
役員	理事(常勤)	1	1			0					1			1				
	理事(非常勤)	10	1	2		7	11		2	1	8	10		2	8			
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2			2			
	評議員	11		1		10	11		1		10	11		1	10			
計	24	2	0	3	0	19	24	0	0	3	1	20	24	0	0	3	1	20
職員	管理職	5	5				5	5				5	5					
	一般職員	10	10				10	10				11	11					
	臨時職員	6				6	7				7	7						7
	非常勤職員	17				7	10	17			7	10	20				7	13
計	38	15	0	0	7	16	39	15	0	0	7	17	43	16	0	0	7	20
プロパー職員の年齢構成(H27.4.1現在)	年齢	～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収							
	男性		2		4	6		12	役員勤		(千円)							
	女性			1	1	2		4	職員勤		(千円)							
	合計	0	2	1	5	8	0	16		48	5,721							

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
正味財産の状況	基本財産運用益	4	8	11	3
	受取会費	0	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	217,128	240,135	257,565	17,430
	自主事業収益	26,947	27,331	22,474	△ 4,857
	受取補助金等	267	0	3,634	3,634
	雑収益	17,136	15,339	6,811	△ 8,528
	経常収入 計	261,482	282,813	290,495	7,682
	事業費	250,417	272,409	285,072	12,663
	うち人件費	134,904	152,887	155,853	2,966
	管理費	12,076	9,156	1,740	△ 7,416
	うち人件費	10,954	8,250	29	△ 8,221
	経常支出 計	262,493	281,565	286,812	5,247
	当期経常増減額	△ 1,011	1,248	3,683	2,435
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期正味財産増減額	△ 1,011	1,248	3,683	2,435	
正味財産期首残高	99,246	98,235	99,483	1,248	
正味財産期末残高	98,235	99,483	103,166	3,683	

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
財務状況	流動資産	92,159	93,150	101,672	8,522
	固定資産	30,395	31,052	30,764	△ 288
	資産 計	122,554	124,202	132,436	8,234
	流動負債	24,319	24,719	29,270	4,551
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	24,319	24,719	29,270	4,551
	正味財産	98,235	99,483	103,166	3,683
	うち基本財産への充当額	30,000	30,000	30,000	0
うち特定資産への充当額	0	0	0	0	

(単位:千円)

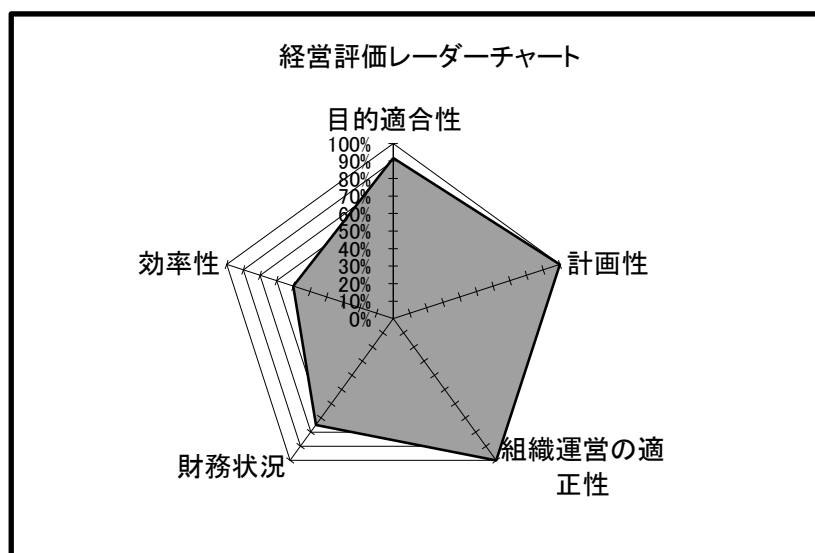
項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	38,753	53,918	58,983	5,065
	人件費以外の委託金	140,199	148,041	156,621	8,580
	委託金 計	178,952	201,959	215,604	13,645
	県支出金 計	178,952	201,959	215,604	13,645
	県の財政的関与の割合(%)	68.4	71.4	74.2	3
県貸付金残高	0	0	0	0	
県債務負担実際残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的・金額
負担金	なし
補助金(運営費)	なし
補助金(事業費)	なし
委託金	生涯学習推進の拠点施設である県生涯学習推進センターの運営(48,137,976円)、男女共同参画推進の拠点施設である県立男女共同参画推進センターの管理運営(134,176,000円)、山梨ことぶき勸学院の運営(19,165,880円)、県森林総合研究所「森の教室」の運営(12,958,000円)、山梨近代人物館の運営
債務負担行為	指定管理委託料

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	11	91.7%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	12	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	42	75.0%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	12	60.0%
合計		21	112	89	79.5%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	出資法人、公益財団法人として設立目的に適合した業務を適切に行うとともに、目標とした成果を上げており良好である。
計画性	平成25年度に26年度から30年度までの経営計画を策定し、年次事業計画に基づいた運営を行ってきており良好である。
組織運営の適正性	平成25年度に経営計画を策定し、以降はこれに基づき計画的な人事管理・財務事務等を行うとともに、事業報告・財務情報等法人の運営に関わる情報についても適切に公開しており良好である。
財務状況	受託金収入の増加や経費削減により収支状況は黒字で、良好な財務状況にある。なお、経常費用については、光熱水費の値上げもあるので、より工夫しながら抑制に努めていく。26年度は、収支相償を満たしていないので、27年度の公益事業に加えて実施するとともに、収支相償を満たすよう努める。
効率性	各施設とも適正かつ必要最小限の人員で運営するとともに、新たなサービスの提供、使い易い施設運営等に心掛け、利用者、利用料金の増加に努めている。今後は、さらに広報機能を強化して、集客率、収益率の向上を図っていく。
総合的評価	平成25年度に策定した経営計画に基づき、健全な経営を行っており、おおむね良好である。各施設とも利用者に安全で利用しやすい施設づくりに努めながら運営をしていくとともに、収支状況を常時チェックしながら公益財団法人に相応しい健全経営を行っていく。



対応策	管理施設については、県民ニーズの的確な把握と積極的な事業展開、質の高いサービスの提供、また、経費削減のさらなる努力などにより、より評価の高い施設運営を行っていく。また、引き続き定期的に差異分析を行う中で経営課題を掘り起こし、その見直しを常時行うことにより健全経営に努めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	男女共同参画推進センター、双葉ふれあい文化館の指定管理業務及び生涯学習推進センター、山梨ことぶき勸学院の受託事業に加え、平成26年度からは、森の教室、山梨近代人物館の事業を受託し、設立目的に沿った事業が行われた。今後も積極的な事業展開を図り、利用者数の増加を図られたい。
計画性	平成26年度から5年間を計画期間とする新たな経営計画を策定し、平成26年度は年次事業計画に基づいた運営が実施された。今後も、社会情勢や経営状況等を勘案し、事業規模の拡大、組織体制の適正化等、適宜、経営計画の見直しを行う必要がある。
組織運営の適正性	経営計画に基づき、職員を採用し、適切な人員管理が行なわれた。財務書類については、会計士への相談や監事監査により、財務の適正化が図られており、また、運営に関わる情報についてはホームページなどに掲載し、適切に公開されている。今後も、定年退職を迎える職員が増加することから、適正な人事管理を行い、組織体制の維持に努める必要がある。
財務状況	受託金収入の増加や経費削減により、収支状況は黒字であり、借入金や債務保証はなく、財務状況は概ね安定している。また、収支相償の基準を満たすよう、より適正な事業の実施と、定期的な収支状況の管理の徹底を図られたい。
効率性	経営計画に基づき、人件費及び管理経費の削減に努めている。今後も、引き続き組織体制の適正化に留意しつつ、人件費抑制を行い、経費削減を図られたい。
総合的評価	平成26年度は、「森の教室」、「山梨近代人物館」の運営を新たに受託したことにより、経営規模の拡大が図られている。また、人件費や維持管理経費の削減に努めたことから、収支状況が黒字となり、経営の安定につながった。今後も引き続き、経営計画に基づき、指定管理業務等の継続的な受託を目指し、適正な人事管理を行う中で、人件費抑制と、管理費の削減に努め、収支状況の管理徹底を行い経営の健全化を図られたい。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>A</p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>B</p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>C</p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>D</p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
※ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は「森の教室」、「山梨近代人物館」の運営を新たに受託したことにより、事業規模が拡大している。 ・受託収入等の増加と経費削減により決算が黒字であった一方、収支相償の未達成や対前々期での施設利用者等減少などにより財務状況、効率性の評価が下がり、B評価となった。 ・指定管理業務が法人経営の柱であるため、継続的な受託を目指した効率的な法人経営に努めるとともに、事業の充実化等による収支バランスの均衡を達成する必要がある。 ・また、職員の年齢層に偏りが見られることから、経営計画に基づく効率的な組織体制の整備や適切な人事労務管理にも取り組むことが求められる。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に指定管理業務や県の委託事業などが受託できるよう、事業を検証し、情報収集に努めていく。 ・収支相償の基準を満たすよう、各事業所の収支状況を定期的に確認し管理の徹底を行う中で、効率的な法人運営と事業の充実等による収支バランスの均衡が達成できるよう努めていく。 ・定年退職者もでてくることから、将来の法人運営に対応したより柔軟的な人員計画を策定し、計画的に職員の新陳代謝を図りながら、経営計画に基づく効率的な組織体制の整備や適切な人事労務管理に取り組んでいく。
